

みやぎ・復興の歩み 15

つなぎ、伝えていくこと

Contents

- 01 東日本大震災の概況
- 02 被害状況／知事あいさつ
- 03 新・宮城の将来ビジョン／宮城県震災復興計画／県内市町震災復興計画
- 04 復興の進捗状況
- 08 みやぎの復興の歩み
- 11 地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア）
- 13 地域の復興状況（石巻エリア）
- 15 地域の復興状況（仙台沿岸エリア）
- 17 宮城の復興と伝承

知事あいさつ

東日本大震災から15年が経過しました。この間、国内外の皆さまから賜りました多大なる御支援、御協力に改めて感謝申し上げます。

これまで、県では多くの皆さまと力を合わせ、復旧・復興に取り組んでまいりました。復興まちづくりなどのハード事業は概ね完了したものの、被災された方の心のケアやコミュニティ再生などのソフト面は、その実情に応じたきめ細かな支援が必要であり、今後も全力を挙げて取り組んでまいります。

本県では、これまで、「創造的な復興」を目指し、人口減少、少子高齢化など現代社会の諸課題を解決するモデルとなるような地域づくりを進め、仙台空港の民営化や医学部の新設などを実現させるなど、その取組が着実に実を結んでおります。2025大阪・関西万博では、復興庁の展示や、東北絆まつりの出展を通じて、復興した本県の姿を国内外の多くの方に発信することができました。

また、震災伝承については、震災の復旧・復興事業に携わった職員などへのインタビュー調査をまとめた「みやぎの3.11」を発行し、経験や教訓を次代に継承する取組を進めております。

今後とも、皆さまと共に手を携え、復興の道を歩いていく所存です。

「みやぎ・復興の歩み15」は、震災から15年の節目となる令和7年度までの震災復興の取組やその経過、現在の状況をまとめたものです。



宮城県知事
村井嘉浩

大高森展望台(東松島市)

東日本大震災の概況

平成23年(2011年)3月11日(金)午後2時46分、東日本大震災が発生しました。東日本を中心に大きな揺れが約3分間続き、電気、ガス、道路などインフラが大きな被害を受けました。また、地震で発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者を出しました。沿岸地域では、従来、一定の津波対策や防災教育を行ってきましたが、この巨大津波を防ぐことはできず、広範囲にわたり壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波で被災し、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



寄せ波



引き波(約6分後)

地震名	平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震
発生日時	平成23年3月11日(金) 午後2時46分
発生場所	三陸沖(北緯38.1度、東経142.5度) ※牡鹿半島の東約130km付近
震源の深さ	24km
最大震度	震度7(栗原市)
規模	マグニチュード9.0

被害状況

1 人的被害 (R7/9未現在)

死者	10,571人
行方不明者	1,215人

○死者のうち932人が関連死
○全国の被害者総数の約5割に相当

2 住家被害 (R7/9未現在)

全壊	83,005棟
半壊	155,131棟

○全国の被害者総数の約6割に相当

3 避難の状況

平成23年12月30日県内の全避難所が閉鎖

ピーク時	避難所数(35市町村)	1,323施設 (H23/3/15時点)
	避難者数	320,885人 (H23/3/14時点)

	H24年4月	R7年7月末
プレハブ仮設 住宅入居者	53,269人	0人
民間賃貸借上 住宅入居者	67,753人	11人
県外避難者数	9,206人	69人

4 ライフライン関係被害

平成23年12月11日
県内のライフラインが全て復旧(津波で流出した地域を除く)

ピーク時	停電	1,545,494戸
	給水支障	35市町村
	ガス供給支障	13市町

5 浸水面積

浸水面積 327 km²

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県合計の浸水面積561km²の約6割、東京都23区面積の半分以上に相当

6 地盤沈下

海拔0m以下の面積 56 km²

震災後増加割合3.4倍

7 被害額【確定】(R4/9末)

項目	金額	対象施設
交通関係	103億円	鉄道、バス、離島航路 ※東日本旅客鉄道分を含みません。
ライフライン施設	2,394億円	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	507億円	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	5兆1,000億円	
民間施設など	9,906億円	工業、商業、自動車・船舶など
農林水産関係	1兆2,952億円	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	1兆1,181億円	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	2,097億円	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	54億円	
その他の公共施設など	774億円	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	9兆968億円	※端数処理の関係上、合計が一致しない場合があります。